

令和6年11月1日(金)第3校時

指導者 教諭 津村 恭平

- 1 単元名・教材名 みんなの楽しみをふくらませたい！日光なるほどブックを作ろう！
「鳥獣戯画を読む」「発見、日本文化のみりょく」(光村図書 6年)

- 2 児童の実態と本単元の意図

本学級の児童はこれまで、「書くこと」の領域において、感想を伝え合うことを通して自分の文章のよいところを見付けること、また分かりやすく伝えるための文章の構成を考えることを学習してきた。「読むこと」の説明的な文章教材においては、主張と事例の関係を押さえ、文章全体の構成を捉えることを学習してきた。全国学力・学習状況調査や埼玉県学力・学習状況調査においても、「書くこと」「読むこと」に関わる問題の正答率は平均よりも高く、これまでの学習が着実に身に付いてきていると言える。また、質問紙調査の結果から、国語の授業で学んだことを「大切だ」、「社会に出たときに役立つ」と回答している児童は平均よりも多く、これまでの国語科での学びを実感し、有用感を感じている児童が多い。一方、「国語の勉強が好き」の項目で「当てはまらない・どちらかといえば、当てはまらない」と答えた児童は約4割であった。その後、国語についてのアンケートをとった際、「当てはまらない・どちらかといえば、当てはまらない」と答えた理由の中で、「文章を考えたり、書いたりすることが苦手」と答える児童が多かった。また、担任として、生活の中で国語科の学びを実感できる場面を作ってきていないことが課題と感じている。今後は、主体的に教材に関わり、これまでに獲得してきた様々な視点から、書き手としても読み手としても楽しんで学び、学んだことを生活の中で生かそうとする姿を期待する。

本単元は、読むことと書くことの複合単元であり、児童は読み手としてだけでなく、書き手の立場も意識して読むことができる。「鳥獣戯画を読む」から、筆者が何に着目し、それをどのように評価しているのか、筆者のものの見方や考え方、論の進め方を捉えさせることができる。そして、読み取って見付けた筆者の工夫を取り入れながら、これから修学旅行で行く日光の歴史や自然、文化のよさを効果的に伝えられるようになると考えられる。

本単元では、「B 書くこと」の指導事項「ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」と、「C 読むこと」の指導事項「ウ 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること」を複合して重点的に指導しながらも、児童の主体性をさらに高めていきたい。具体的には、単元の導入で「工夫して書くことのよさ」について話し合う。その際に、これまでどんな書き表し方の工夫をしてきたのかについて、既習事項を振り返り、「鳥獣戯画を読む」の筆者の書き表し方のよさに気付かせたい。その後、日光の魅力についての課題意識をもたせることで、単元のゴールを児童の思いから設定する。単元中盤からは、学習の中でより必要感をもって読むことや書くことに取り組みさせるため、二つの領域を往還できるよう、児童に学習を委ねていく。その際、自分の学び方が適切な学びであったのか自覚させるために、Excelの共有ポートフォリオにリフレクションする時間を設けていく。ICTの活用などを通して、児童の学習を見取り、児童同士が協働的に学べるよう支援していく。

本時は、児童が一人一人の問いに対して、自分で学んでいく単元の中盤の時間となる。導入では、前時までの一人一人の学びの成果や課題について共有を図り、単元のゴールに向けての、問いや相手、方法を選択し、1 単位時間の学びをデザインする時間を設ける。そして、そのデザインを基に一人一人が主体的に教材に向き合っていく。学習活動に取り組む児童に対して、教師は児童一人一人と対話しながら、ファシリテーターやコネクターとして関わっていく。終盤には本時の学習を振り返り、学習を価値付け、自らの学びを自覚できるようにする。

本単元の学習を通して、読み手として効果的であると感じた表現の工夫や論の進め方を活用し、書き手として表現豊かに書いた文章を相手から認められる経験を通じて、生活の中でも言葉を大切にしていこうとする態度を育てたい。

3 単元の見目標

- (1) 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。 〔知識及び技能〕 (1)ク〕
- (2) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B (1)ウ〕
- (3) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1)ウ〕
- (4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。〈学びに向かう力、人間性等〉

4 本単元における言語活動

教材文で見つけた筆者の工夫を取り入れながら、日光の魅力を伝える文章を書く。

(関連：言語活動例 ア)

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク	① 「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B (1)ウ) ② 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。(C (1)ウ)	① 粘り強く論の進め方について考えたり、書き表し方を工夫したりし、学習の見通しをもって日光のよさを伝える文章を書こうとしている。

6 指導と評価の計画 (全10時間)

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	<ul style="list-style-type: none"> ○「鳥獣戯画を読む」を読んで、感想を話し合う。 ○身に付ける指導事項に適した言語活動を検討し、単元のゴールを設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○紹介文の構成や表現の効果 	<ul style="list-style-type: none"> ○「鳥獣戯画を読む」を読む前に鳥獣戯画の解説文を書かせ、その後本文と出会わせることで筆者の表現技術やものの見方の魅力を実感させる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○日光の魅力について話し合い、共有する。 ○紹介したい日光の魅力を決定する。 ○単元のゴールから、単元の学習課題を出し合い、学習の見通しを立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的や意図を明確にすること 	<ul style="list-style-type: none"> ○修学旅行への自分たちの楽しみ(友達との関わりなど)と学年のめあて(歴史や自然を学ぶ)との意識の差から、「歴史や自然も楽しみにしたい」という目的をもたせ、ゴールを設定する。
3 4 5 6 7 8 9	<ul style="list-style-type: none"> ○単元のゴールに適した言語活動を自らの意思で選択し、自己調整しながら学習を進める。 ⑤ (自由進度学習) ・ (想定される言語活動) 6 【読むこと】 ・ 「鳥獣戯画を読む」から、筆者の主張を読み取る。 ・ 「鳥獣戯画を読む」から筆者の論の進め方や表現の工夫について考える。 9 【書くこと】 ・ 紹介したい日光の見所を決め、調べる。 ・ 見所のよさをまとめ、文章に表す。 ・ 文章に表したものを友達と読み合い、構成や表現などを推敲する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○比喩や反復などの表現の工夫 ○簡単に書いたり詳しく書いたりすること ○事実と感想、意見とを区別して書くこと ○目的に応じて必要な情報を見付けること ○論の進め方について考えること ○文章と図表を結び付けること 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【知識・技能①】 ノートの記述、聞き取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材文から読み取った表現の工夫のよさに気づき、まとめているか確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【思考・判断・表現①・②】 ワークシートの記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材文から読み取った表現の工夫のよさを理解しながら、自分の感じた魅力を伝える文章にできているか確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 学習の様子、振り返りの記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 粘り強く、日光のよさについて相手に伝わりやすい文章にするために、見通しをもって言語活動に取り組んでいるか確認する。 </div>
10	<ul style="list-style-type: none"> ○書いた文章を友達と読み合い、感想を伝え合う。 ○単元の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○交流の仕方 ○交流の視点 ○振り返りの仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ○読み合う際の視点の共有化を図り、事後にも生かすことができるようにさせる。

7 本時の学習指導（5／10時）

(1) 目標

○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

〈思考力、判断力、表現力〉B(1)ウ

○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。

〈思考力、判断力、表現力〉C(1)ウ

(2) 評価規準

○「書くこと」において、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 【思考・判断・表現】

○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。 【思考・判断・表現】

(3) 展開

主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 前時の学びを振り返り、本時の課題を設定する。	○学びの見通し	○Excel ポートフォリオや前時の活動の様子をスライドにまとめることで、成果や課題を共有し、本時の活動につなげる。	10
2 自分で設定した課題に対し、相手や学び方を自己決定し、学びを進める。 ○書くことに関する課題 ・選んだ見所の中で、一番伝えたいことはなんだろう。 ・文化のよさが効果的に伝わる文章の構成はどんな構成だろう ・筆者の書き表し方で使える工夫はどんな工夫だろう。 ○読むことに関する課題 ・筆者は鳥獣戯画のどこをよさと捉えているだろう。 ・筆者は事実と感想、意見をどのように書いているだろう。 ・鳥獣戯画のよさを伝え	○比喩や反復などの表現の工夫 ○簡単に書いたり詳しく書いたりすること ○事実と感想、意見とを区別して書くこと ○目的に応じて必要な情報を見付けること ○論の進め方について考えること ○文章と図表を結び付けること ○自分の考えを広げること	○問いを分類したカテゴリを明示することで、自分の設定した課題と同じ課題を選んでいる仲間や、関連する課題について学んでいる仲間を見付け、自ら学ぶ相手を選択し、対話が生まれるように支援する。 ○教師は、ファシリテーターやコネクターとして、児童同士の学びをつなげたり、同じ学習者として、書き表し方のよさを味わえたりできるように支援していく。 【思考・判断・表現①・②】 <u>読み取ったことの聞き取り、記述、観察</u> ・叙述を基に、表現の工夫などから物語の全体像を読み取り、問いに対して自分なりの解釈をしている児童をBとする。 〈「努力を要する」状況(C)への手立て〉 ・絵と文章を線でつなぎながら読むように声をかけ、筆者の工夫に気付かせる。 ・教科書の作文例や構成メモの例を示し、自分の伝えたいことは何かを明確にさせる。	25

<p>るために筆者はどのような工夫をしているだろう。</p> <p>①論の展開について</p> <p>②表現の工夫について</p> <p>③絵の示し方について</p>	<p>○お互いの考えのよさや相違点に気付くこと</p>		
<p>3 本時の学びを振り返り、次時の見通しをもつ。</p>	<p>○振り返りの仕方</p>	<p>○本時の学びについて、ペアで話し合う時間を設け、本時の学びを言語化させる。</p> <p>○学びを共有するためにポートフォリオに振り返りを入力させ、次時に向けて具体的な見通しをもつことができるようにさせる。</p>	<p>10</p>